

I 調査の概要

1. 調査の目的

現計画（平成29年度～令和3年度）の計画期間満了に伴い、市民を対象に男女共同参画に関する意識調査を実施し、市民の意識及び実態の変化を把握する。また、今後取り組むべき課題や問題点を明らかにして、現在の社会情勢や新制度等を踏まえ、現計画の見直しを行い、今後の男女共同参画の推進をより効果的にするための新しい計画策定のための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査時期

令和2年11月27日（金）～12月20日（日）

3. 調査対象

荒尾市に居住する満20歳から69歳以下の男女1,500人（男性750人、女性750人）を住民基本台帳から無作為抽出

4. 調査方法

郵送による配布、回収

二次元バーコードによる回答方法

5. 回収状況

配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
1,500件	590件	587件	39.1%

6. 調査主体

荒尾市総務部総務課男女共同参画推進室

7. 調査結果の分析者

古賀 倫嗣（放送大学熊本学習センター客員教授 熊本大学名誉教授）

8. 集計上の留意点

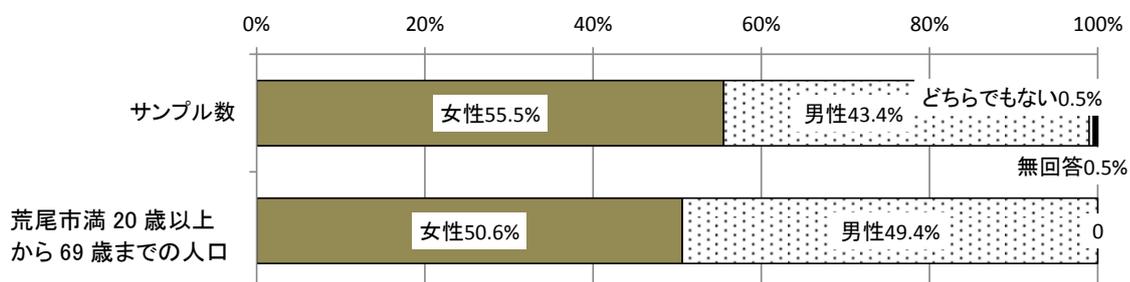
- (1) グラフ中の「N」は、母数となるサンプル数(回答者数)を示している。
- (2) 集計結果は百分率で算出し、四捨五入の関係上、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 荒尾市は、平成27年10月に「男女共同参画に関する市民意識調査」を実施している。今回の調査は、主要には前回調査の結果との比較を通じて市

民の意識や行動の変化をみるものである。あわせて、荒尾市民の意識特性等を明らかにするために、令和元年11月に熊本県が実施した「男女共同参画に関する県民意識調査」を比較データとして使用した。県民調査は、質問形式、選択肢が異なる場合もあるが、地域特性を析出するために用いる。また、国のデータは、令和元年9月に内閣府が実施した「男女共同参画社会に関する世論調査」を使用した。

9. 標本特性

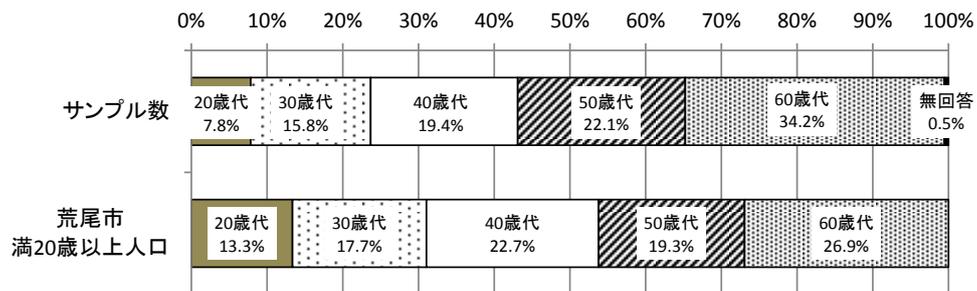
◆性別

	サンプル数		荒尾市 満20歳から69歳までの人口	
	人数	割合	人数	割合
女性	326人	55.5%	14,699人	50.6%
男性	255人	43.4%	14,343人	49.4%
どちらでもない	3人	0.5%	0人	0.0%
無回答	3人	0.5%	0人	0.0%
合計	587人	100.0%	29,042人	100.0%



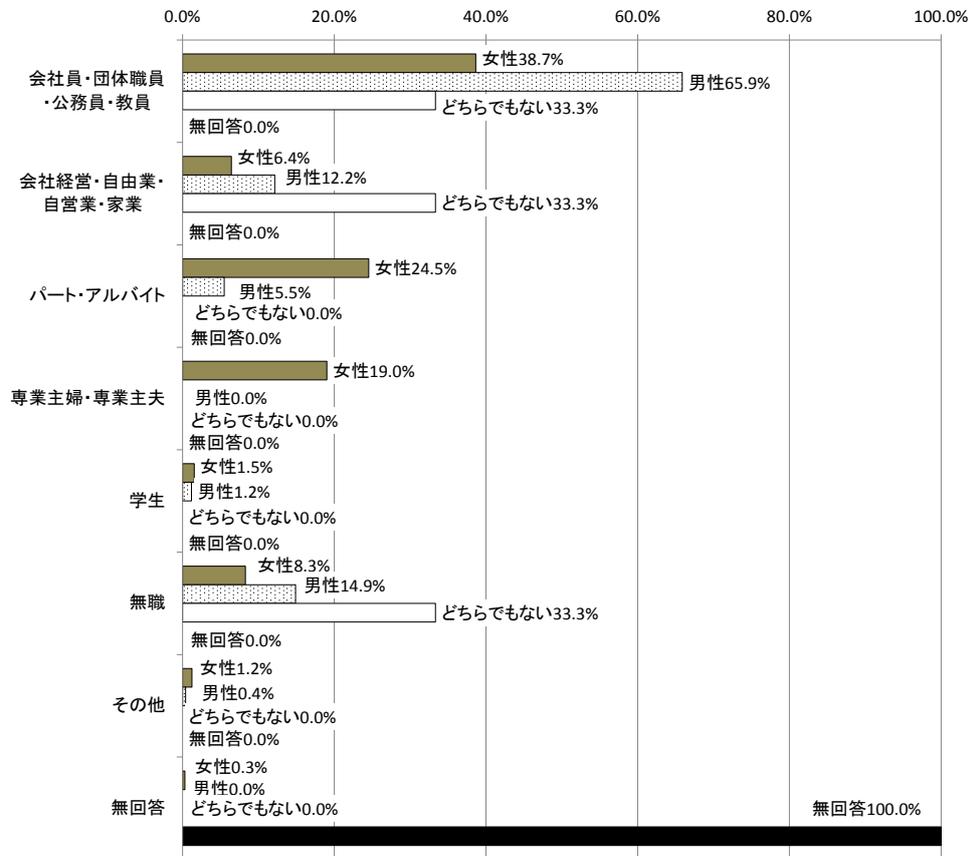
◆年齢別

	サンプル数		荒尾市 満20歳から69歳までの人口	
	人数	割合	人数	割合
20歳代	46人	7.8%	3,875人	13.3%
30歳代	93人	15.8%	5,144人	17.7%
40歳代	114人	19.4%	6,602人	22.7%
50歳代	130人	22.1%	5,598人	19.3%
60歳代	201人	34.2%	7,823人	26.9%
無回答	3人	0.5%	0人	0.0%
合計	587人	100.0%	29,042人	100.0%



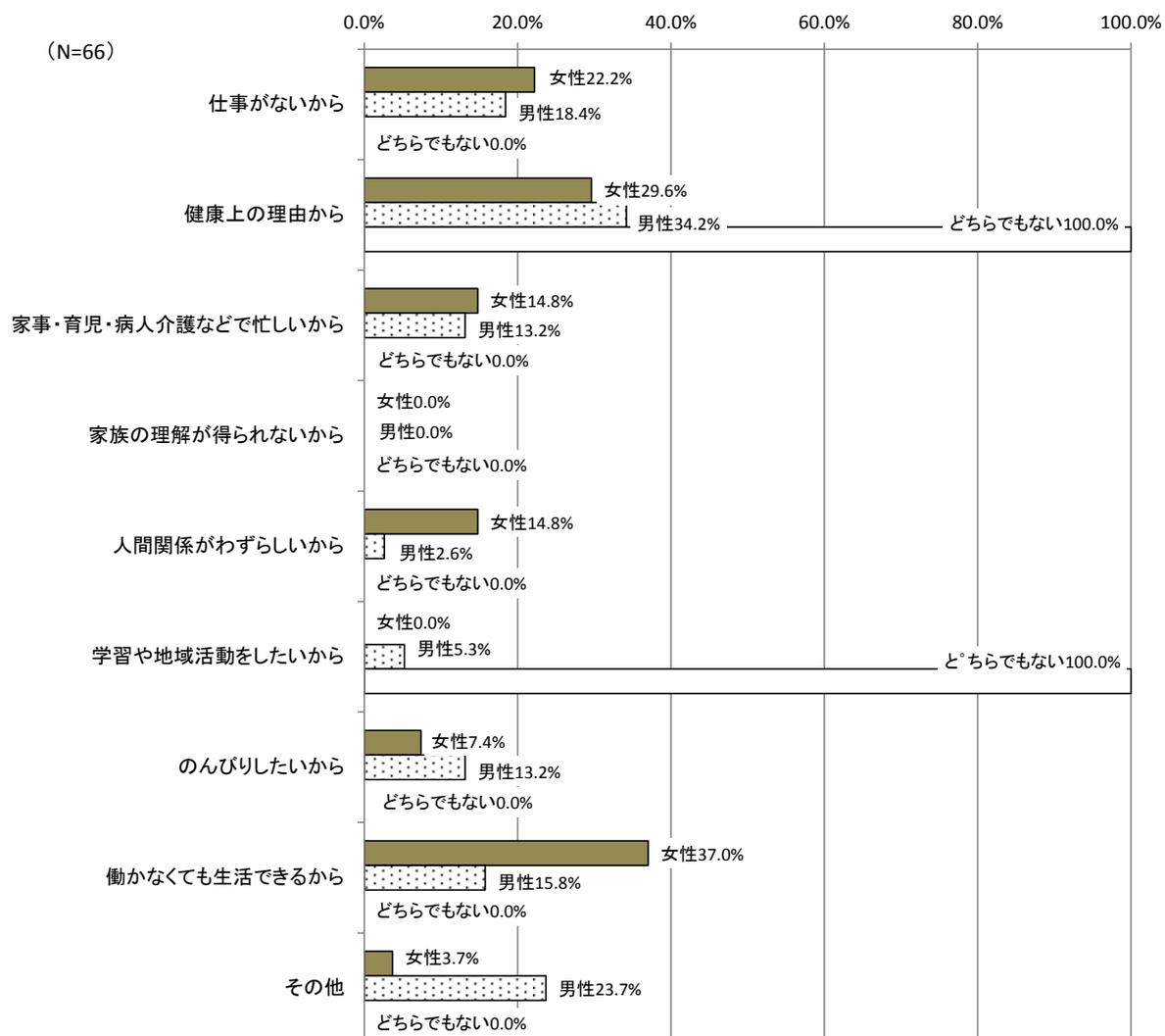
◆職業別

(N=587)

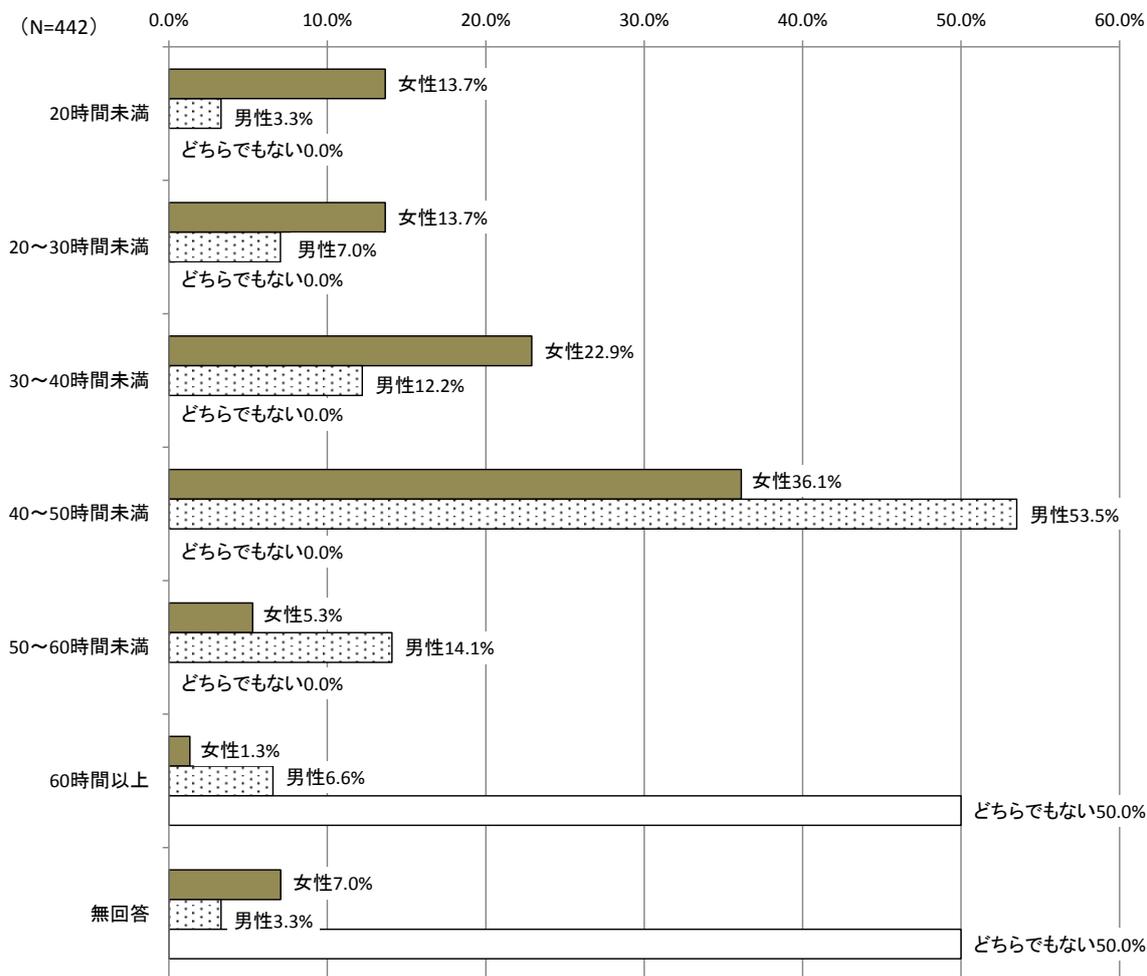


	サンプル数	会社員・団体職員・公務員・教員	会社経営・自由業・自営業・家業	パート・アルバイト	専業主婦・専業主夫	学生	無職	その他	無回答
20歳代	46	28	0	7	2	7	2	0	0
30歳代	93	57	7	21	5	1	1	1	0
40歳代	114	74	8	22	6	0	3	1	0
50歳代	130	74	17	18	13	0	7	1	0
60歳代	201	62	21	26	36	0	53	2	1
無回答	3	0	0	0	0	0	0	0	3
総計	587	295	53	94	62	8	66	5	4

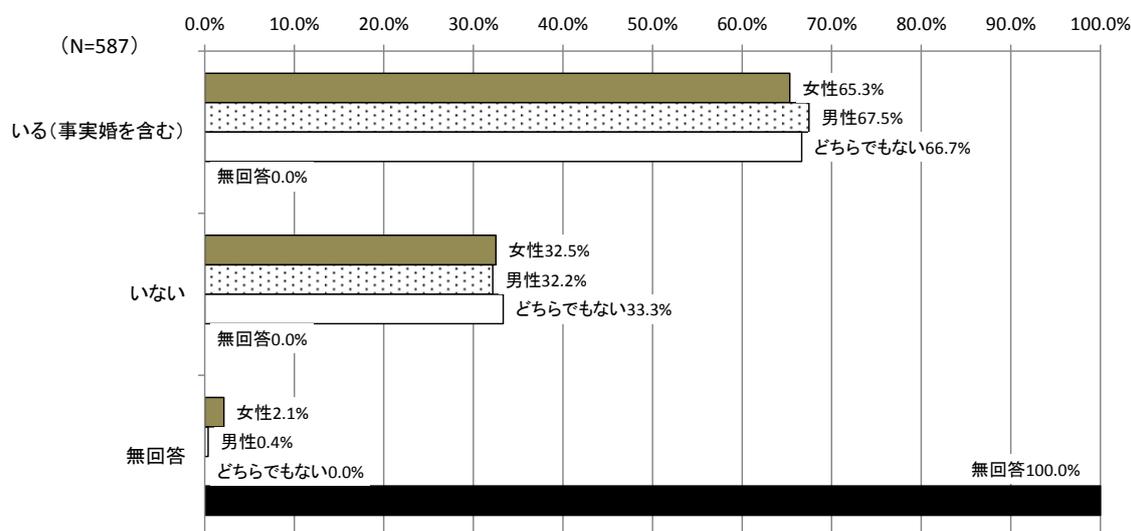
◆無職の理由



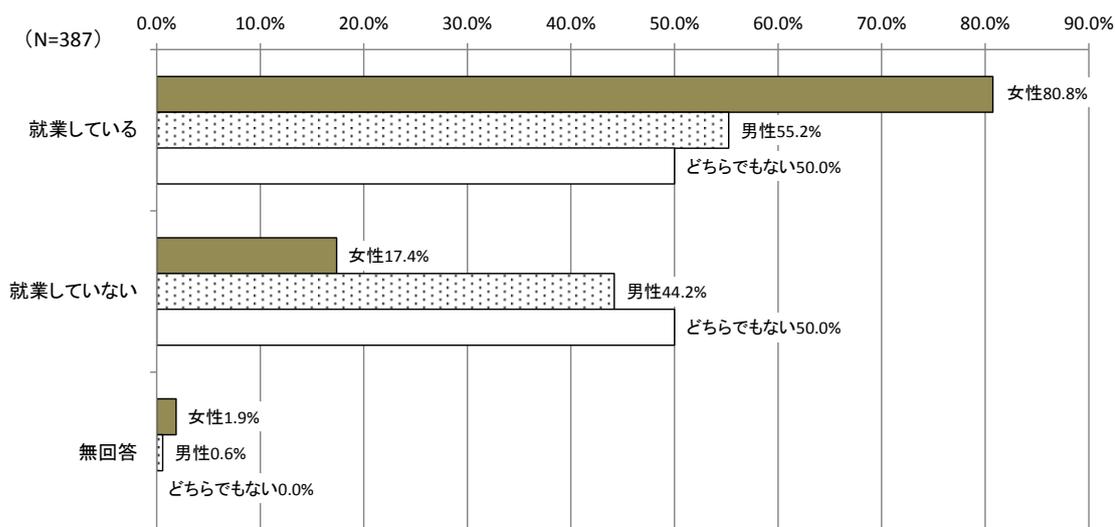
◆週の就業時間



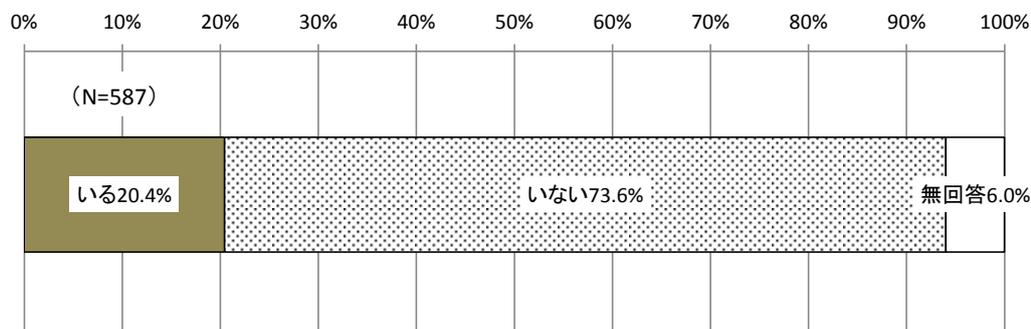
◆配偶者の有無



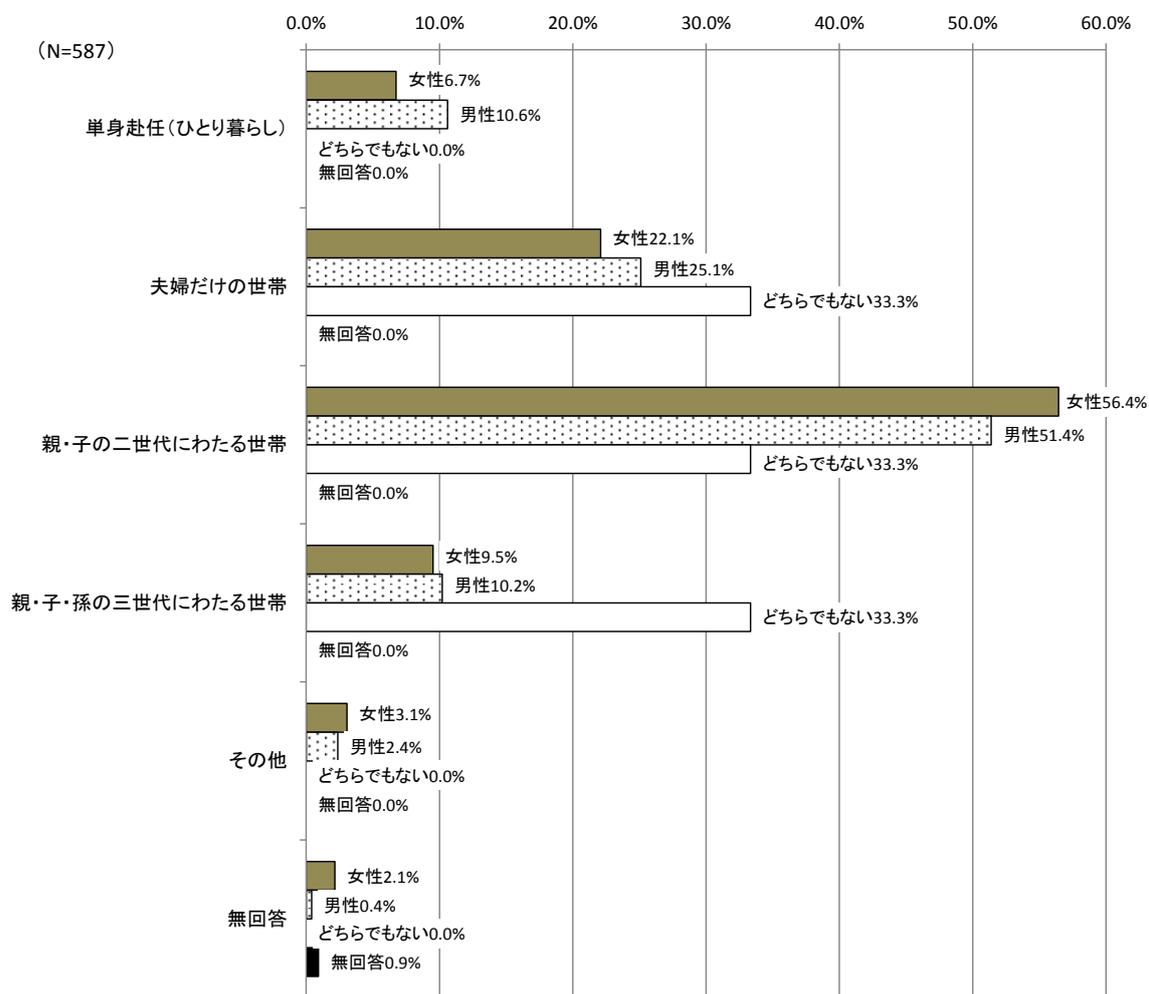
◆配偶者の就業状況



◆小学生以下の子どもの有無



◆家族構成



10. 回答者の概要

意識調査対象となる満 20 歳以上から 69 歳までの人口は、29,042 人、女性 14,699 人 (50.6%)、男性 14,343 人 (49.4%) である。その範囲の市民 1,500 人に調査票を配布し、女性 326 人 (55.5%)、男性 225 人 (43.4%)、どちらでもない 3 人 (0.5%)、性別無回答 3 人 (0.5%) の 587 人から有効回答を得て分析した。

年齢別では 60 歳代が 3 分の 1 以上を占めたが、荒尾市の人口構成割合と比べ、7.3 ポイント上回った。

男性の職業背景では正規雇用 (65.9%) が 6 割を超え、60 歳代の回答者も多かった。60 歳代では無職 (26.4%) が次に多かった。女性は正規雇用 (38.7%)、非正規雇用 (24.5%)、専業主婦 (19.0%) の 3 つが多かった。

1 週間の就業時間 (※専業主婦・専業主夫、学生、無職、その他を除く) では男性 (53.5%) も女性 (36.1%) も 40~50 時間未満が最も多かった。女性は、40 時間未満 (50.3%) が 5 割以上で、男性 (22.5%) よりも短時間であった。

配偶者がいる人は男女とも 6 割以上であり、女性の配偶者 (男性) の約 8 割、男性の配偶者 (女性) は 5 割以上が就業していた。2 割の回答者に小学生以下の子どもがおり、家族構成で最も多かったのは「親・子の二世帯」で男女とも 5 割以上を占めた。